

セシウムの恐怖とその対策に乗り出す  
フルボ酸入りサプリメントの開発に着手

[http://blog.livedoor.jp/the\\_radical\\_right/archives/52728574.html](http://blog.livedoor.jp/the_radical_right/archives/52728574.html)

南相馬から出荷の牛肉、セシウム検出 基準の4.6倍

(2011年7月9日)

東京都は8日、福島県南相馬市内の畜産家が出荷した黒毛和牛1頭の首部の肉から、国の基準(1キログラムあたり500ベクレル)の4.6倍にあたる2300ベクレルの放射性セシウムを検出したと発表した。同じ畜産家が出荷した残り10頭についても検査をしたところ、9日、すべてから3200~1530ベクレルの同セシウムが検出された。都によると、牛肉から基準を超える放射性物質が検出されたのは初めて。

計11頭は、食肉処理後にすべての肉が加工施設内に保管され、流通していない。福島県は9日、県内の畜産関係団体などを緊急に集め、出荷自粛など今後の対応を協議する。出荷自粛の対象地域を、南相馬市以外に拡大するかどうかや、えさの管理の在り方について検討する。

都の説明では、中央卸売市場食肉市場・芝浦と場(港区)で食肉処理後、放射能検査を実施した。

<http://www.asahi.com/national/update/0709/TKY201107080733.html>

福島の子どもの尿からセシウム 仏のNGO「調査を」

(2011年6月30日)

福島県内の保護者らでつくる「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」など六つの市民団体は30日、福島市に住む6~16歳10人の尿を調べたところ、全員の尿から放射性セシウムが検出されたと発表した。

依頼を受けて尿を検査したフランスのNGO「アクロ」のデービッド・ポアイ工理事長は、会場で「子どもたち全員の内部被曝(ひばく)が確認された。汚染の値は低かったが、さらに詳しい調査が必要だ」と話した。6団体は、子どもを最優先に内部被曝の検査をすることや、被曝を減らす対策をとるよう政府と福島県に求めていく。

検査に応じたのは、男子6人、女子4人。いずれも福島ネットワークの会員の子どもの、福島市在住。うち1人は3月下旬に他県に避難した。10人の尿を5月下旬に採取したところ、セシウム137が1リットルあたり0.43~1.30ベクレル、セシウム134が1リットルあたり0.41~1.13ベクレル検出された。

福島県民への健康影響を調べる予備調査でも、内部被曝を調べるために尿検査をしている。

<http://www.asahi.com/special/10005/TKY201106300554.html>

このニュースでもお分かりの通り、我々は既に体内にかなりのセシウムを取り込んで生活していることがハッキリしてきました。しかし、政府は大した問題ではないとまるで他人事のような態度です。

我々は自分の身体を自分で守っていかなければならない。現在そのような思いに捉われておりますが、その対策の一つとして今回、「原発災害被害者の会」では米国からフルボ酸という物質を輸入しました。

genpatusaigai@gmail.com



このフルボ酸に関して先日、次のような記事を目にしました。

[フルボ酸について | Miyamonte Fulvic News](#)

[ひまわりプロジェクト | Miyamonte Fulvic News](#)

(\*ブログリンク先参照)

フルボ酸が放射性物質であるセシウムに対してかなりの効果があるというのです。そしてそのフルボ酸を入れたサプリメントの商品が開発され、売られていることも分かりました。かなり高価なものですが、米国の私の知人がこの会社と取引があったので譲って頂くことにしました。

これを私が古くから知っている健康食品の研究所に明後日届けて、このフルボ酸入りの健康食品を開発するつもりです。

以前、健康食品を手がけようとした時には、ブログで公表し多くの方から「やめたほうが良い」とのアドバイスを受け断念した経緯があります。選挙に破れた原因を組織力のなさや資金不足と考え、その為に何らかの事業をと考えての結果でした。

しかし、今回はそのような考えではなく、もう何とか自分達の身を守らねばならないという、ある種切羽詰まった考えもあることは事実です。セシウムを体から出しやすくするなら、とにかく何でもやってみようと思いついた次第です。

フルボ酸入りの錠剤になるのか、或いはドリンクになるのか、研究機関に依頼してからの判断です。事業化できるかはその研究所が判断すると思います。我々はただ自分達の身体を放射性物質から守る為に試飲させて頂きます。

今回の決断について、まだ前の経緯を知る人達からの批判を浴びるのは覚悟の上です。以前はカンパを頂いていた関係などで、そちらの事業にカンパした資金が使われるのではないかと懸念を持つ方もおられました。

しかし、現在はもうカンパは頂いておりません。商品開発にかかる一切の費用は私が個人的に捻出することになりますし、既にその費用は用意してあります。フルボ酸の安全性は米国では実証されていると聞きました。

放射性物質という最も危険なものが既に体内で蓄積を始めている現在、それを排出(キレート)する効果に優れているとされるフルボ酸を試してみるのに、何の遠慮もいららないと思います。自らの身体で実験台となつて、その効果を試してみるつもりです。

また、これは福島県だけの問題ではなくなつてきているのも事実です。

関東周辺のセシウム汚染予測 国立環境研、影響評価へ

(2011年7月6日)

東京電力福島第一原発から放出された放射性セシウムによる関東周辺の汚染を予測するプロジェクトを、国立環境研究所(茨城県つくば市)が始めた。生物や汚泥などに蓄積されるセシウムが、生態系や人体に及ぼす影響を評価する基礎データを得るのが狙いだ。

大気中に放出された放射性物質は、雨などで地面に降り、土壌から河川に入って、海に流れ出すと考えられている。セシウム137は半減期が30年と長く、影響が長期に及ぶと考えられる。しかし、広がり方の実態はよくわかっていない。

同市周辺は筑波山や霞ヶ浦があり、市街地の周辺に田園地帯が広がるなど、自然環境の縮図のような地域。大原利真・地域環境研究センター長らは、このエリアで森林の土壌や湖底の泥、貝や水草、市街地の水道水などに含まれるセシウム137を継続的に測定する。得られたデータからセシウムの動きをモデル化し、それをもとに、関東地方を中心とした汚染の推移をシミュレーションする。

<http://www.asahi.com/national/update/0706/TKY201107060096.html>

行動するジャーナリストが  
現下の祖国日本に  
渾身の愛と力を込めて筆を揮う!

わからない事は  
調べましょう!

検索

政治ブログランキング

【政治部門】4位

(2011年10月16日時点)